

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 ディービーエックス株式会社

コード番号 3079 URL <http://www.dvx.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 若林 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務経理部長

(氏名) 魚住 洋二

TEL 03-5985-6827

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,208	10.1	337	18.0	345	18.7	222	17.9
25年3月期第1四半期	5,637	11.8	285	26.1	291	28.8	189	48.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	39.52	—
25年3月期第1四半期	33.53	—

(注)当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,231	3,629	35.5
25年3月期	9,996	3,541	35.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,629百万円 25年3月期 3,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,459	11.4	574	2.5	572	0.6	343	△6.7	60.85
通期	24,961	9.1	1,161	3.3	1,158	4.7	687	0.7	121.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	5,640,000 株	25年3月期	5,640,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,238 株	25年3月期	1,238 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	5,638,762 株	25年3月期1Q	5,638,762 株

(注)当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました^が、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、日本銀行が金融緩和政策を発表したことに加えて、復興需要や緊急経済対策により公共投資が増加したこと等で景気回復期待が高まったことから、個人消費も底堅く推移いたしました。そうした流れを受けて、期初から急速に円安・株高の傾向が進みましたが、米国の金融緩和政策（QE3）の早期縮小観測を受けて、期央からは為替水準や株価水準が乱高下する展開となりました。

医療機器業界におきましては、安倍政権が、医療分野の発展を成長戦略の一環として位置付けたこともあり、将来的なビジネスチャンス拡大の期待が高まる一方、厚生労働大臣の諮問機関である中央社会保険医療協議会において、平成26年4月及び平成27年10月に予定される消費税率の引き上げに伴う診療報酬のあり方について議論されました。

このような情勢のもと、当社では、経営の効率化や販売体制の強化に取り組み、業容の拡大を目指してまいりました。その一環として、平成25年4月に名古屋営業所と福井出張所を開設し、営業エリアの拡大に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は6,208,706千円（前年同期比10.1%増）、営業利益337,190千円（前年同期比18.0%増）、経常利益345,754千円（前年同期比18.7%増）、四半期純利益222,868千円（前年同期比17.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、植込み型除細動器（ICD）やアブレーション（心筋焼灼術）カテーテル、電極カテーテル等の主力商品の販売数量が増加し、当第1四半期累計期間の売上高は5,142,498千円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益は723,468千円（前年同期比13.6%増）となりました。

② 虚血事業

自動造影剤注入装置「ACIST」及びエキシマレーザ血管形成システムの関連商品の販売が好調に推移する一方、円安の影響により輸入商品の仕入価格が上昇することとなりました。その結果、当第1四半期累計期間の売上高は945,392千円（前年同期比16.0%増）となり、セグメント利益は347,084千円（前年同期比6.6%増）となりました。

③ その他

当第1四半期累計期間の売上高は120,815千円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益は16,250千円（前年同期比7.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ233,424千円増加し、9,560,139千円となりました。これは主に、配当金の支払い等により、現金及び預金が74,879千円減少したものの、売上高の増加に伴って受取手形及び売掛金が313,768千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ1,422千円増加し、671,457千円となりました。これは主に、投資有価証券が9,205千円増加する一方、無形固定資産が4,197千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ234,846千円増加し、10,231,596千円となりました。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ167,404千円増加し、6,347,120千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が267,795千円増加する一方、納税により未払法人税等が154,000千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ20,382千円減少し、254,915千円となりました。これは主に、長期借入金が27,168千円減少する一方、退職給付引当金が5,109千円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ147,022千円増加し、6,602,035千円となりました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ87,824千円増加し、3,629,560千円となりました。これは主に、四半期純利益により222,868千円増加する一方、剰余金の配当により140,969千円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は35.5%（前事業年度末は35.4%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年5月15日公表の「平成25年3月期 決算短信」における業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,188,666	3,113,787
受取手形及び売掛金	5,489,239	5,803,007
商品	470,215	443,095
繰延税金資産	110,000	72,000
その他	86,879	134,395
貸倒引当金	△18,285	△6,146
流動資産合計	9,326,715	9,560,139
固定資産		
有形固定資産	242,880	240,179
無形固定資産	42,815	38,618
投資その他の資産		
投資有価証券	193,557	202,762
差入保証金	105,573	104,338
繰延税金資産	75,000	75,000
その他	10,208	10,557
投資その他の資産合計	384,338	392,658
固定資産合計	670,034	671,457
資産合計	9,996,750	10,231,596
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,351,567	5,619,363
1年内返済予定の長期借入金	118,412	109,772
未払法人税等	255,000	101,000
賞与引当金	162,331	93,364
売上値引引当金	—	24,560
その他	292,405	399,060
流動負債合計	6,179,716	6,347,120
固定負債		
長期借入金	71,045	43,877
退職給付引当金	127,482	132,592
役員退職慰労引当金	65,868	67,881
その他	10,900	10,564
固定負債合計	275,297	254,915
負債合計	6,455,013	6,602,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	2,863,270	2,945,170
自己株式	△547	△547
株主資本合計	3,521,911	3,603,811
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,825	25,749
評価・換算差額等合計	19,825	25,749
純資産合計	3,541,736	3,629,560
負債純資産合計	9,996,750	10,231,596

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	5,637,305	6,208,706
売上原価	4,657,336	5,121,904
売上総利益	979,969	1,086,802
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	253,420	269,920
賞与引当金繰入額	88,673	93,364
役員退職慰労引当金繰入額	1,900	2,012
退職給付費用	5,861	11,467
その他	344,254	372,847
販売費及び一般管理費合計	694,110	749,612
営業利益	285,859	337,190
営業外収益		
受取利息	6	61
為替差益	5,300	—
デリバティブ評価益	—	3,782
貸倒引当金戻入額	108	12,338
その他	703	353
営業外収益合計	6,118	16,536
営業外費用		
支払利息	697	371
為替差損	—	7,600
営業外費用合計	697	7,972
経常利益	291,280	345,754
特別利益		
固定資産売却益	21	—
特別利益合計	21	—
特別損失		
固定資産除却損	0	23
特別損失合計	0	23
税引前四半期純利益	291,301	345,730
法人税、住民税及び事業税	128,418	88,143
法人税等調整額	△26,175	34,719
法人税等合計	102,243	122,862
四半期純利益	189,058	222,868

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。